



# 図書館からのお知らせ

## 1. 11月の開館案内

### 11月の開館

		開館時間	閉館時間
1	月		
2	火	9:10~17:50	11:30~12:30
4	木		
5	金		
6	土	10:30~15:30	
8	月		
9	火	9:10~17:50	11:30~12:30
10	水		
11	木		
12	金		
13	土	10:30~15:30	
15	月		
16	火	9:10~17:50	11:30~12:30
17	水		
18	木		
19	金	10:30~15:30	
22	月		
24	水	9:10~17:50	11:30~12:30
25	木		
26	金		
27	土	10:30~15:30	
29	月		
30	火	9:10~17:50	11:30~12:30

(注: 記載のない曜日は閉館です)

## 3. 学園創立100周年記念 JOSHOG 古本募金について

JOSHOG 古本募金とは、書籍などの寄付で、より良い学びの場を支える活動です。本学では本館1階、北館1階ロビー、北館2階図書館前に古本募金用ボックスを設置していますので、ご協力をお願いします。また、2022年の学園創立100周年を記念し、本年度9月より、ご寄付をいただいた皆様に「記念しおり」を進呈しています。詳細は「学園創立100周年記念サイト」内 <https://www.josho.ac.jp/100th/news/210728.htm> をご覧ください。ご支援をお待ちしております。

## 4. 2022年版赤本所蔵について

2022年版赤本については、随時「蔵書検索システム」(OPAC)の新着案内でお知らせしています。なお、2022年版の多くは北館9F職員室に置いてあります。2021年版以前の赤本もOPACで所蔵がチェックできます。不明な点があれば、図書館カウンターに申し出てください。受験シーズンの前にチェックして、早めに受験対策に役立ててください!!



## 2. 新着図書を紹介

たくさんの新着図書から、図書館員の一押しを紹介します。

・「美しい季節のことは365」パイインターナショナル  
日本には季節ごとに自然を表現する美しい言葉があり、空、月、光、風、雨、桜に関する言葉だけでも日本人の感性や情緒が凝縮されたものがたくさんあります。本書をパラパラめくってください。季節ごとに変わる日本の情景を再発見することで、何気なく過ごす日常が愛おしく大切に感じられますように。



・「フード・アナトミー」  
ジュリア・ロスマン(著)  
オープン歴史、世界のパン、チーズや豆腐の作り方。ブロッコリーは花? ナッツと豆の違いは? フライドポテトに何をつける? ……などなど、食にまつわる色々なものを知る旅に出かけよう!



・「目の見えない白鳥さんとアートを見にいこう」川内有緒(著)  
見えない人と一緒にアートを見る旅は、私たちがどこに連れていってくれるのか。軽やかな文章で美術館めぐりの追体験を楽しみながら、社会を考え、人間を考え、自分自身を見つめ直すことができる、まったく新しいノンフィクション!



・「まるで魔法のような本当の話」TERUKO(著)  
ある国に、なかなか眠れないお姫様がいました。「物語屋」という1人の男は、「まるで魔法のようだけれど、本当にある話」をお姫様に話して聞かせ、お姫様を眠らせることができるのです……。物語屋が語り出すとともに、この世に本当にあるふしぎと神秘の扉が開きます!



・「日本カンパニーキャラ&シンボル大全」  
ポップでモダン、かわいくて懐かしい!! まさに名作揃い! 日本人なら誰もが知っている昭和生まれのマスクットキャラ大集合★ 日本のキャラクター文化を総覧できる1冊です。



## 5. 11月は読書推進月間です!!

今年度も、11月を本学の読書推進月間とし、図書館では様々なイベントを企画しています★

### イベント内容

- ・読書キャンペーン  
期間内(10/20~11/30)に「卒業までに読もう100冊」リストのうち、1冊以上を借りてくれた貸出冊数上位数名に景品を差し上げます! (注)コミックは貸出冊数に入りません。
- ・ビブリオバトル(放送) ※今回開催するのは持ち時間がひとり3分間の「ミニビブリオバトル」です。  
11月の水曜日お昼休み時間に、放送部委員に協力頂き、生徒会図書委員によるビブリオバトルを放送します。今年度よりGoogleフォームでの投票も開始! 右記QRコードからご参加ください!
- What's BIBLIOBATTLE!? 《(和)biblio-(本の意の接頭語)+battle(戦い)》  
参加者同士で本を紹介し合い、もっとも読みたいと思う本を投票で決める催し。出典:デジタル大辞泉 ※公式ルールではひとり5分の持ち時間と1~2分のディスカッションがあります
- ・ゲーム in 図書館  
図書館がなんと脱出ゲームの会場に……!? 参加用紙は館内にて配布中★



## 6. 「卒業までに読もう100冊」特集

常翔中高の先生方から中学生・高校生にお勧めの図書をそれぞれ100冊ずつ選出していただいた「卒業までに読もう100冊」! 展示中の特集コーナーより、その一部をご紹介します。



・「モモ」ミヒヤエル・エンデ(著)



時間におわれ、人間本来の生き方を忘れてしまった現代の人々。このように人間たちから時間を奪っているのは、実は時間泥棒の一味のしわざなのだ。少女モモは、時間をとりもどしに「時間の国」へゆく。そこには「時間の花」が輝くように花ひらいていた。

・「コンビニ人間」村田沙耶香(著)



コンビニのバイト歴18年目の古倉恵子。夢の中でもレジを打ち誰よりも大きくお客様に声をかける……現代の実存を軽やかに問う話題作。「普通」とは何か?

・「阪急電車」有川浩(著)



電車は、人数分の人生を乗せて、どこまでも続かない線路を走っていく——片道わずか15分。そのとき、物語が動き出す。ほっこり胸キュンの傑作長篇小説。

・「星の王子さま」サン＝テグジュペリ(著)



サハラ砂漠のまんなかで乗っていた飛行機がこわれてしまったぼく。人の住む場所から遠くはなれた砂漠で、ぼくは小さな声を聞き目をさました。「おねがいします……羊の絵を描いてくれよ!」

### 高校

・「江戸城のトイレ、将軍のおまる」小川恭一(著)



鳶魚「最後の弟子」が縦横に語る江戸城中! 殿中の煩雑な儀式の最中に尿意をもよおした大名はいったいどうすればいいか? 誰も教えてはくれない疑問に「柳菴学」はこたえてくれる。

・「反社会学講座」パオロ・マッツァリーノ(著)



少年の凶悪犯罪は減ってるし、少子化になっても日本の社会はなんともない。昔の日本人はちっとも勤勉じゃなかったし、日本のお役人はふれあい大好きだ……社会学を超えた「反社会学」で見れば、世の中はこんなにもおもしろい!

### 中学

・「シートン動物記」シートン(著)



人間の畏を嘲笑うかのように逃れ、コランポー帯の牧場を荒らしまわる狼王ロボ。しかしロボにも弱点があった……。自然の尊厳と脅威を体現したかのような狼の物語の表題作以外に、3作を収録する。

・「弱くても勝てます」高橋秀実(著)



甲子園も夢じゃない!? 平成17年夏、東大合格者数日本一で有名な開成高校の野球部が、東東京予選ベスト16に勝ち進んだ。思わず爆笑、読んで納得の傑作ノンフィクション!

→他にもあります。探している本が見つからないときはカウンターまで!